

歯周病と全身の関係

最近テレビ CM などでも耳にする事がありますが、成人の 8 割以上は歯周病かその予備軍です。

歯周病は歯を支える骨を溶かす病気ですが、口の中だけにとどまらず、体の様々な場所で病気を引き起したり悪化させたりします。

例えば、心臓病や動脈硬化、誤嚥性肺炎、早期低体重児の原因として深く関係していることが解っています。

また、糖尿病の悪化と歯周病の進行に強い相関関係があります。これは歯周病菌が気道や血液を介して、肺や全身に運ばれるためにおこります。

2011 年に肺炎が死亡原因第 3 位になりましたが、肺炎の多くは誤嚥性肺炎です。歯周病は単に口の中の問題ではなく、全身の健康と大きく関わる病気でもありますので、積極的に治療しましょう。

医療法人 健志会 総院長／理事長 南清和